

米国フロリダ州 大手農業企業が柑橘類事業の閉鎖を発表

[FreshFruitPortal](#) 2025年1月7日

アリコ社は、カンキツグリーンング病と悪天候により数シーズンにわたって財政的困難が拡大していることから、フロリダ州の柑橘類事業部門を閉鎖すると発表した。

フロリダ州フォートマイヤーズ市に本拠を置き、州内の8つの郡に約5万3,371エーカーの土地を所有し、州内の約4万8,700エーカーに石油、ガス、鉱物の権利を有する同社は、すべての土地で農業事業を多様化し、一部の区画は商業開発や住宅開発に利用する計画である。この動きは、投資家の資本に対しより大きな収益を提供するための取り組みである。(1エーカー=約0.4ヘクタール)

同社はプレスリリースで、2025年産作物が収穫された後は、それ以上の資本を投入しないとしている。それどころか、同社は「収益性の高い成長のための新たな機会を創出すると同時に、株主を代表して慎重に行動する」ことに引き続きリソースを集中させる。

アリコ社の社長兼最高経営責任者(CEO)であるジョン・キアナン氏は、同社の柑橘類生産量は過去10年間で約73%減少したと述べ、「2017年のイルマ、2022年のイアン、2024年のミルトンの3つのハリケーンが、長年のカンキツグリーンング病で既に弱体化していた弊社の果樹に影響を与え、弊社はフロリダ州での柑橘類栽培はもはや経済的に見合わない」と結論付けた」と付け加えた。

アリコ社は、柑橘類生産のための労働力の大部分を直ちに削減し、2026年までのもう1シーズンは、第三者によって約3,460エーカーが管理される見通しである。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

タイ パイナップルはより良い睡眠の自然な助け

[FreshPlaza](#) 2025年1月7日

タイの複数の大学がパイナップルをより良い睡眠と総合的な健康のための自然な助けとして特定

人気の熱帯果実であるパイナップルが、睡眠の質を高めるための自然療法として浮上した。抗酸化作用と抗炎症作用で良く知られるこの果実は、体内のメラトニンレベルを最大240%と大幅に上昇させることが確認された。メラトニンは、概日リズム(体内時計)を調節するための重要なホルモンであり、暗闇に反応して脳に信号を送り、安らかな睡眠を促進する。

タイの複数の大学が主導して15種類の熱帯果実を精査した研究では、乾燥重量で果実1グラム当たり6万8,092ナノグラム(1ナノグラムは10億分の1グラム)の濃度を記録したパイナップルをメラトニンの主要な供給源であると特定した。なお、この果実に含まれるセロトニンとトリプトファンも、気分と睡眠に影響を与え、この果実が不眠症に対する天然の対抗手段として働く可能性に寄与している。

パイナップルは睡眠を促進する性質で際立っているが、メラトニンレベルを自然に高める能力はパイナップルだけのものではない。動物性食品では卵や魚があり、植物性食品ではクルミ、一部のキノコ類、全粒穀物やマメ科植物がある。これらの代替品は、睡眠の改善を促進するだけでなく、全般的な健康に不可欠な栄養素を提供する。

パイナップルに含まれる栄養素は、ビタミンC、マンガン、ブロメライン等である。これらの成分は、免疫系をサポートし、細胞の酸化ストレスに対する抗酸化作用を有し、抗炎症作用と治癒作用がある。さらに、グリセミック指数(GI)と繊維含有量の低さから、パイナップルは低カロリーを維持しながら消化を促進する健康志向の選択肢である。したがって、パイナップルを食事に取り入れることは、睡眠の質を改善し総合的な健康を高めるためのシンプルで栄養価の高い戦略として役立つ可能性がある。

出典: [GloucestershireLive](#)